

演劇ワークショップ

本学では、感受性や表現力を磨き、社会で求められるコミュニケーション能力を育むことを目的に、演劇の手法を取り入れたワークショップ形式の講義を実施しています。

この講義は、プロの俳優を目指す学生だけでなく、教員・保育士・社会福祉士などを志す学生にとっても、実践的なコミュニケーション力を養う機会となっています。また、一般企業への就職を目指す学生にとっても、面接や社会に出てから役立つ表現力を身につける機会となっています。高校生の皆さんにも、こうした講義を体験していただくことで、感受性や表現力を養うきっかけとしていただければと考えています。

講義の具体的な内容につきましてはご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。

演劇で培う表現力と協働性 教授 / 西村 和宏

最初に、体と声を使った簡単なアイスブレイクをします。リラックスした後、小グループに分かれて短いシーンを創作し、発表します。こうした演劇体験やグループワークを通して、表現力や協働性、主体性を学びます。グループワークが主体の講義なので、クラス作りやアクティブラーニングの導入にも役立ちます。

即興演劇を活用した 表現する力を育てる ワークショップ 教授 / 仙石 桂子

即興演劇とは、脚本も、設定も、役も何も決まっていな中で、その場に出てきたアイデアを受け容れ合い、ふくらましながら、物語をつくり、場面を演じながらシーンをつくっていく演劇です。即興演劇の基本方針は、「自由と協調」。即興演劇を体験することで、自由な創造力と、相手と協調することを学びます。

実習における コミュニケーション技術を 活用したワークショップ 教授 / 仙石 桂子

福祉科での実習に行く前に身につけておきたいこと、行った後の課題について、コミュニケーション技術を基にロールプレイングを活用したワークショップを行います。演劇の専門家として、利用者、実習生、職員の立場に寄り添い、アドバイスをします。

動きの中で学ぶこと 教授 / 阪本 麻郁

高度に進化したITによってヴァーチャルな世界が拡大した現代に生きる若者たちに、コンテンポラリー・ダンスという生身の身体を使った芸術を通して、身体感覚やコミュニケーション能力を回復させる講義です。芸術を活用した講義を行うことで、自信が養われ、批評的な思考力や規律を重んじる姿勢が生まれます。